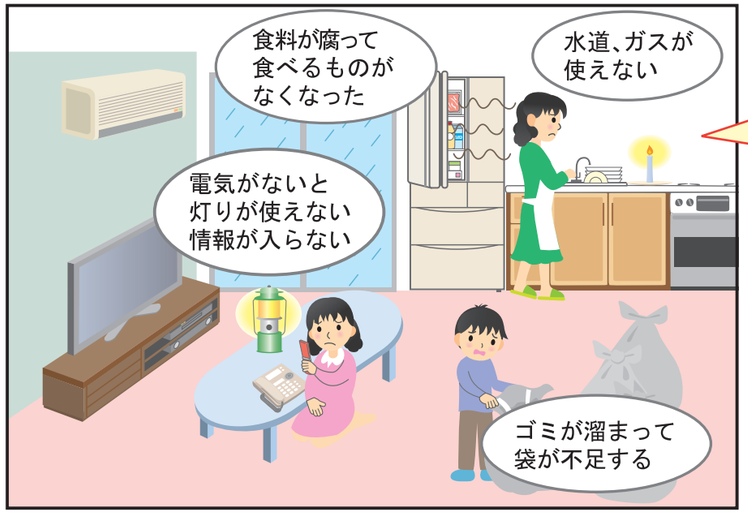
2-10. 浸水継続時間図

甲府盆地では、地形的条件から河川が氾濫した際に浸水が長期間続く可能性のある地域もあります。この浸水継続時間図は、浸水深が0.5mを越えてから下回るまでの時間を示したものです。

浸水が長期にわたると、立退き避難せず自宅の2階などに待避した場合、電気・ガス・水道などのライフラインが使えなくなったり、備蓄していても水や食料などがなくなるおそれがあります。

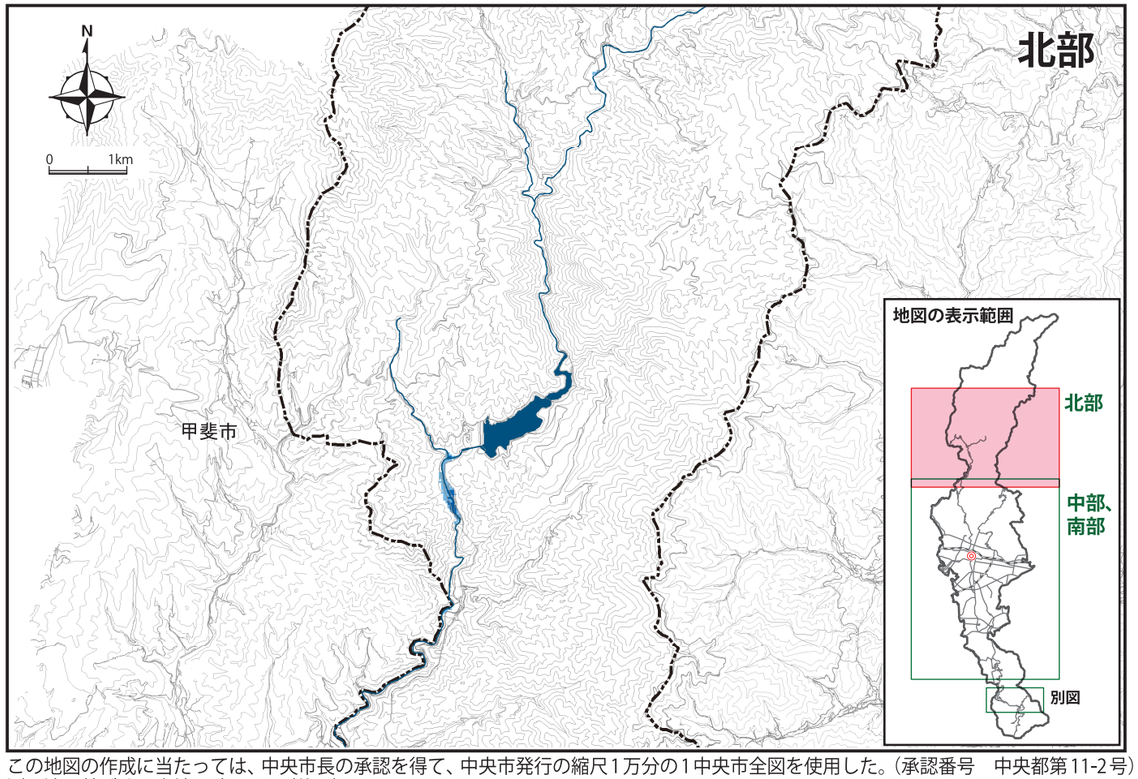
浸水継続時間が長期化した場合のリスク



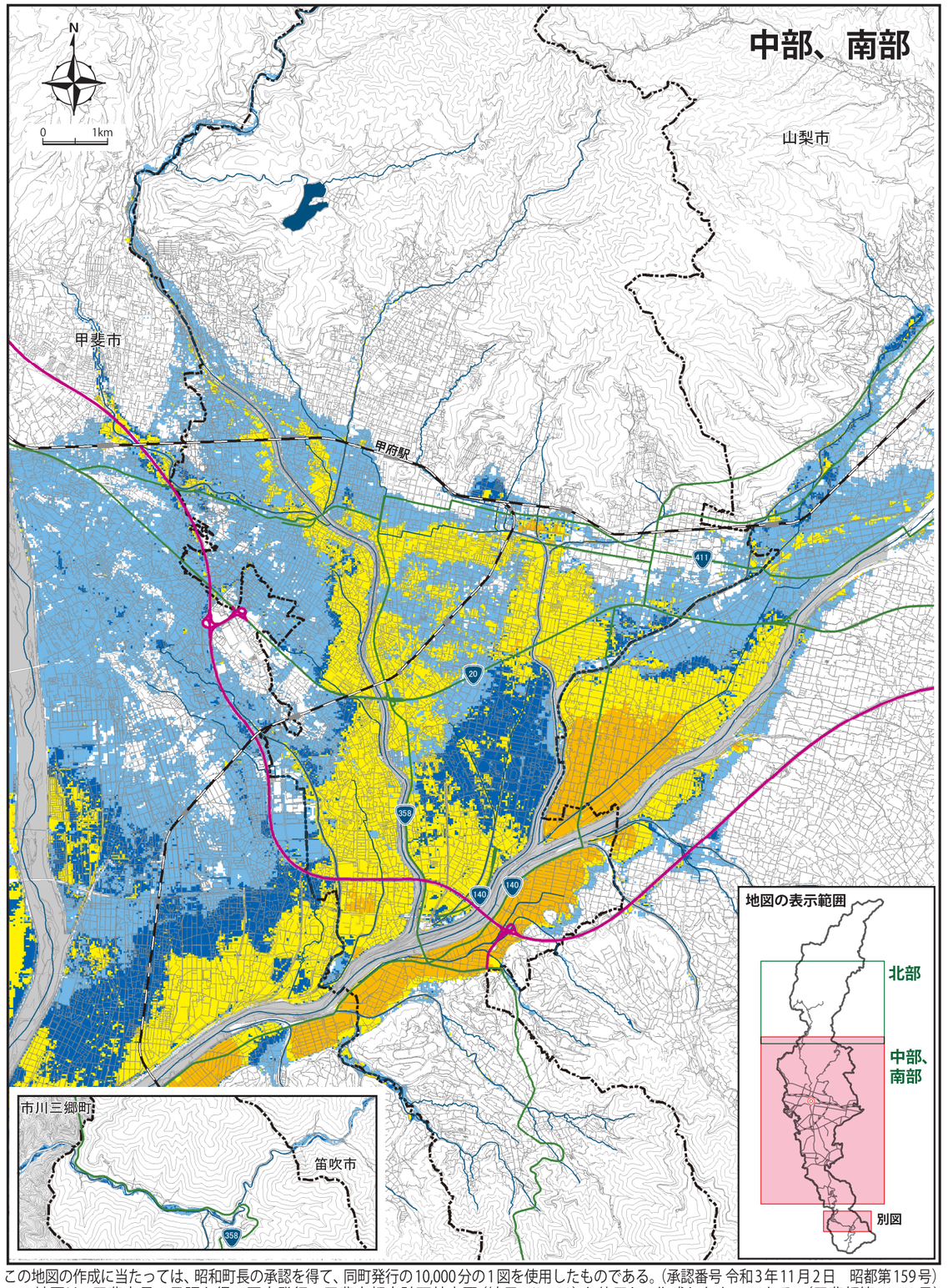
その他
- 浸水深が深い場合には、家から外へ出られない。
- 病人が出た場合に対応が難しく、定期的な診療を受けている人は診療を受けられない。
- 高層階では、停電などによりエレベータが止まり、階段での移動は困難。

など。

浸水継続時間
- 3日以上1週間未満
- 1日以上3日未満
- 12時間以上1日未満
- 12時間未満



この地図の作成に当たっては、中央市長の承認を得て、中央市発行の縮尺1万分の1中央市全図を使用した。（承認番号　中央都第11-2号）
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 587
この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の縮尺10,000分の1の都市計画基本図を使用し、作成したものである。（令和3年11月4日 笛まち第11-2号）



この地図の作成に当たっては、昭和町長の承認を得て、同町発行の10,000分の1図を使用したものである。（承認番号 令和3年11月2日　昭都第159号）
この地図は、甲斐市長の承認を得て同市発行の甲斐市都市計画基本図（縮尺 1/2,500）を使用し、作成したものである。（甲斐都第10-70号）

2-11. 避難の心得

大雨などの災害による危険がせまると、市から避難情報を発令し、市民の皆さんに避難を呼びかけます。ただし、身の危険を感じたら市からの呼びかけを待たずに避難しましょう。

浸水が始まる前の早めの避難行動を

浸水が始まると、水深が浅くても移動することが困難になります。気象情報や河川の水位情報をもとに、身の危険を感じたら直ちに避難しましょう。車での移動も故障や渋滞に巻き込まれるおそれがあるため、徒歩での移動を心がけましょう。

歩行が困難になる



ドアが開かなくなる



車が止まってしまう

●車種によってはタイヤの半分くらいでエンジンが止まることもあります。



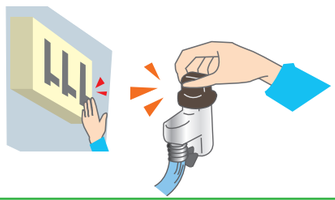
●お年寄りや子供、病気の方、体の不自由な方などは、早めの避難が必要です。避難に支援が必要な方に協力しましょう。



●避難は自主避難で！
●市や消防団から避難の呼びかけがあったら、速やかに避難してください。



●外出前に電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めて避難しましょう。



●避難するときは、動きやすい格好で。2人以上での避難を心がけましょう。



●やむを得ず水の中を移動するときは、長い棒などで足元の安全を確認しながら移動しましょう。



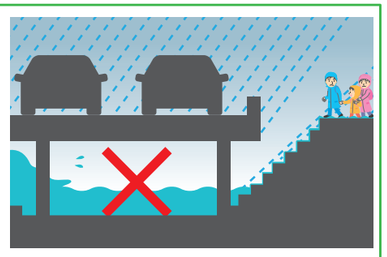
●指定避難所が近くにないときは、近所の丈夫な建物の上の階へ一時的に避難しましょう。



●ゆるやかな流れでも、ひざの高さになると大人でも歩くのが困難です。小さな河川や水の流れのある場所に近づかないようにしましょう。



●大雨時、半地下道路（アンダーパス）など、通行中の車両が水没する、足をとられて動けなくなるなどにより重大な事故が発生するおそれがあります。避難する際にはそのような場所を避けて避難しましょう。



2-12. 指定避難所について

災害時に不特定多数の人が集まる避難所は、お互いに気持ちよく健康に過ごすために、心配りや思いやりが必要です。

指定避難所での心得

プライバシーを守りましょう

居住スペースは個々の「家」と同じです。女性、乳幼児や子供のいる家庭、要配慮者などのプライバシーに気を配りましょう。



環境の変化による体調不良に注意しましょう

急激な環境変化などで体調を崩さないよう心がけましょう。
（夏は適切な水分補給を、冬は効率的に暖をとる）



防犯対策

避難所は多数の人の出入りのある環境であるため、自分の身は自分で守ることを心がけましょう。

要配慮者への思いやりを

要配慮者（体の不自由な方、お年寄り、子供、妊婦、外国人）など、助けが必要な場合お互いに協力し合いましょう。



～避難所Q&A～

※令和５年３月に全戸配布しました「わが家の防災マニュアル」に避難所Ｑ＆Ａを詳しく記載しています（P43～47）このマップと併せてご活用ください。

Q 自分が避難する避難場所の情報を得るには、どうすればいいですか？

A 平常時においては、この甲府市洪水ハザードマップや「甲府市防災アプリ」「市ホームページ」等で避難場所の情報を確認できます。
災害時の避難所開設情報については、「Ｌアラートの配信」（Ｌアラートを配信することにより、テレビのデータ放送、甲府市防災アプリ、甲府市防災ポータルから避難所開設情報が配信されます）、「甲府市防災防犯メールマガジン」「防災行政用無線」など、様々な情報伝達手段を用いて発信します。（この洪水ハザードマップの2-1.大雨時にとるべき行動P5をご覧ください）

Q 甲府市では指定避難所における女性への配慮は何かされていますか？

A 各指定避難所は自治会、防災リーダーが中心となり施設管理者と地域連絡員と呼ばれる市職員などで構成される避難所運営委員会で以下の運営に配慮した避難所運営を行うこととしております。

- 女性専用の避難スペースの確保（女性、母子世帯を対象に）
- 物干し場、更衣室、授乳室の設置（女性専用のものを設置）
- 生理用品、女性用下着の女性による配布
- 巡回警備等による指定避難所の安全性の確保（女性と男性のペアで見回りを実施する）